



The Japan Institute of Architects

2024

SYMPOSIUM 3

建築の

未来

I



シンポジウム3 [建築の未来Ⅱ]

石山友美氏 監督作品

「だれも知らない建築のはなし」上映

11 / 28 (木)

13:30 ~ 15:30

●会場：BF小会議室 2・3

建築はそれが根ざす社会と切り離して考えることは不可能なものです。石山友美氏（映画監督／秋田公立美術大学准教授）の監督作品『だれも知らない建築のはなし』（2015年、ベネチアビエンナーレ出品作品）では、高度に資本主義化された社会で、何をどう生み出すのかという建築家たちの夢と挫折の歴史が描かれ、バブル経済が世界に名だたるスター建築家を生んだ事実や、映画公開当初問題となったオリンピックスタジアム建設問題に象徴される公共建築のあるべき姿が問われました。この映画を上映し、石山氏に映画制作時のエピソードや、出演した建築家たちについて、お話ししていただきます。公開から10年経った現在、当時映画に出演した建築家たちが憂えた建築の未来を再考します。

石山 友美 映画監督／秋田公立美術大学 准教授

1979年生まれ。日本女子大学家政学部住居学科卒業。
磯崎新アトリエ勤務を経て、渡米。
カリフォルニア大学バークレイ校大学院、
ニューヨーク市立大学大学院で建築、芸術論、社会理論を学ぶ。
ニューヨーク市立大学大学院都市デザイン学研究科修士課程修了。
在米中に映画制作に興味を持つようになる。
映画監督作に『少女と夏の終わり』（2012）、
『だれも知らない建築のはなし』（2015）。2017年から秋田在住。

